



## 和歌山大学宇宙教育研究所チャレンジセミナー

Challenge Seminar of Institute for Education on Space,  
Wakayama University

横山 正樹

和歌山大学宇宙教育研究所

本研究所は“宇宙”をキーワードにチームによるプロジェクト型人材育成のための授業開発を行っている。今回、本研究所より規模が大きく、先行して学部を越えた学生プロジェクトを成功させてきた東海大学チャレンジセンターの園田氏を話題提供者としてお迎えし、本学学生の自主性・主体性の育成に繋げることを目的として「宇宙教育研究所チャレンジセミナー」を開催したので報告する。

キーワード：セミナー，学生プロジェクト，学生教育

### 1. はじめに

和歌山大学は「地域を支え、地域に支えられる大学」であるとともに持続可能な社会の実現に貢献することを目指し、教職員と学生の相互の信頼関係に基づいた「自主・自律・共生の気風にあふれる大学」という大学のあるべき未来像を描いている。そのため、大学全体の教育レベルの向上と学生自身の自主性・創造性を育むべく、本学の学生が高度な理論と実践力を修得する支援を強化するとともに教育方法の改善策や教育現場で直面する諸問題の対処法など教員同士で相互の意思疎通や情報交換を行う組織的な取り組みが行われている。特に、本学の第2期中期計画においては、学士教育課程における自主的・創造的活動を重視し、プロジェクトマネジメント力の育成を意図した教育を実施することが第2期中期目標を達成するための教育内容の取るべき措置として位置付けられている。

2010年度に発足した宇宙教育研究所は本学のこれらの中期目標に沿って、地域と国際社会に対して責任を負うとの認識の下、「与えられた」実験教材による予定調和的な学習から脱却し、将来の教育・研究・産業などのあらゆる分野に普遍的に浸透してであろう「宇宙」をキーワードに学生自ら企画から達成までマネジメントができる人材、どの分野でも幅広く通用できる基礎力を備えた人材を育成することを目的として、

チームによるプロジェクト型人材育成教育の授業開発を行っている。具体的には文系・理系の別は問わず、モデルロケットやハイブリッドロケット、成層圏バルーンなどを使った実習や実践を重んじる教育を行っている。加えて、今年度は正規授業として宇宙とプロジェクトマネジメントを組み合わせた進取の授業を開講するなど、手探りではあるがプロジェクトマネジメント力の育成に特化した新たな教育プログラムの提供を開始した。

### 2. 宇宙教育研究所チャレンジセミナー

本研究所のこれまでの取り組みと本研究所が今展開している様々な自主的・創造的教育プログラムをさらに昇華させ、本学の中期目標の達成に積極的に寄与するとともに、プロジェクト型人材育成教育を通じた他部局との連携を一層強化すべく「宇宙教育研究所チャレンジセミナー」を企画した。本セミナーは、これまで大学で学生プロジェクト活動を支援してきた教員によりプロジェクトマネジメントに関して専門的な立場から知見を提供してもらうとともに宇宙教育研究所の取り組みを一層洗練し、大学全体のアクティビティの旗振り役となるべき教員が学生と共に生き活きと活躍する場を創出することを目指している。

表1 宇宙教育研究所チャレンジセミナーのアウトライン

日 時	平成23年12月19日(月) 16:00～18:00
場 所	和歌山大学教育学部本館棟第2会議室(中501室)
1. 開催挨拶(理事・副学長 平田 健正)	
2. 宇宙教育研究所チャレンジセミナー趣旨説明(宇宙教育研究所所長 秋山 演亮)	
3. 発表	
3-1	「プロジェクトにおける学生支援の現状と課題」 発表者：園田 由紀子(東海大学チャレンジセンター)
3-2	「宇宙教育の意義と目的」 発表者：秋山 演亮(和歌山大学宇宙教育研究所)
3-3	「宇宙プロジェクトマネジメント入門」授業について 発表者：横山 正樹(和歌山大学宇宙教育研究所)
4. 総合討論	

### 3. 実施内容

本研究所は、2011年度後期の教養教育科目の授業「宇宙プロジェクトマネジメント入門」で“宇宙”をキーワードに学生自ら企画から達成までマネジメントができる人材、どの分野でも幅広く通用できる基礎力を備えた人材を育成することを目的とし、チームによるプロジェクト型人材育成教育の授業開発を行っている。チームによるプロジェクト型人材育成教育の取り組みは他大学でも行われており、例えば、東海大学のチャレンジセンターの「でかちやれ」は社会貢献・ものづくり・地域活性化など多彩なテーマに約1,500人の学生が参加するスケールの大きなものである。そこで、東海大学チャレンジセンターの園田由紀子氏をお招きし、学部を越えた学生プロジェクトを成功させるための秘訣などを向うとともに本学学生の自主性・主体性の育成に繋げることを目的で本学の教職員を対象にした「宇宙教育研究所チャレンジセミナー」を2011年12月19日に開催した。

セミナーのアウトラインは表1の通りである。まず、本学の平田理事による挨拶に始まり、趣旨説明、そして、東海大学チャレンジセンターの園田氏の講演と移った。園田氏の講演内容は2006年4月に発足した東海大学チャレンジセンターの組織体制の紹介や東海大学で行われている学生プロジェクトの取り組み、その支援体制、抱えている課題、学生の特徴など多岐に渡るものであった。

本セミナーを企画した当初は本研究所の教員も発表を予定していたが、含蓄ある園田氏の講演を引き続き

聞きたいとの要望が強かったため、時間の関係から結局、園田氏のための発表となった。



図1 セミナー風景

### 4. まとめ

セミナーの様子を図1に示す。セミナーは、出席者数が10名程度と比較的小規模にとどまったが、講演者の熱意ある話聴衆も熱心に耳を傾け、建設的な質疑がなされ、セミナー終了後も活発な意見交換が行われた。プロジェクト型教育を行っている本研究所の教員だけでなく本学の第二期中期目標を達成しようとする全学的な取り組みに貢献するためにも有益な内容であったと思われる。今後、同様のセミナーの企画があった場合には、授業改善を目指している全学の教員に向けて積極的な参加を促していきたい。